

令和6年度

決算公表

＜問合せ＞ 財政管理課

令和6年度の各会計の決算が第3回定例市議会において認定されました。

＜一般会計決算＞

歳入 461億6,208万円

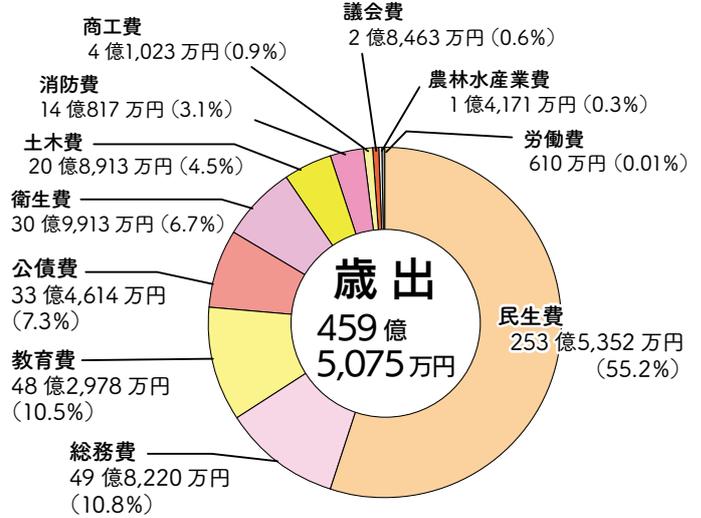
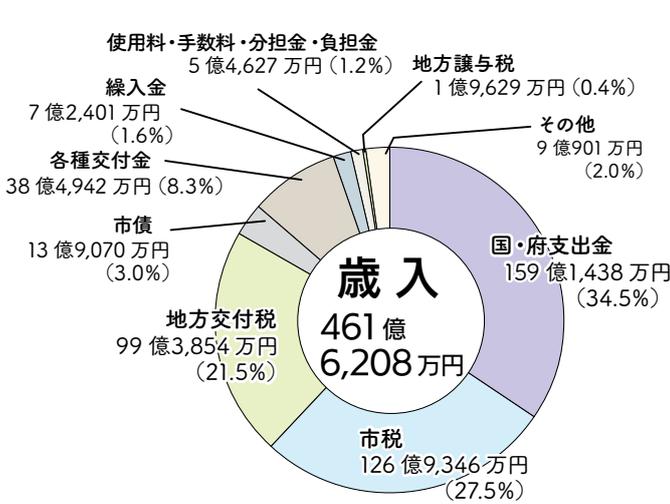
歳出 459億5,075万円

実質収支 1億2,105万円 ※実質収支…歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額

歳入では、地方債が44.7%、地方税が3.9%減少しているものの、国庫支出金が4.1%、地方特例交付金が332.2%増加するなど、全体で前年度比0.2%の増加となっています。歳出では、公債費が35.8%、土木費が16.3%減少しているものの、民生費が6.6%、総務費が9.3%増加するなど、全体で前年度比0.2%の増加となっています。

令和7年度以降も、社会保障費や公共施設の老朽化対策等への支出と併せて、物価高騰に伴う歳入歳出両面への影響もあることから、健全な財政運営を持続できるよう、今後も行財政改革の取り組みを進めてまいります。

一般会計歳入歳出決算の内訳



■市民1人あたりの市税負担額 11万8,560円

■市民1人あたりの歳出決算額 42万9,190円

※構成比および金額は単純四捨五入のため、合計が100%にならない場合や総額と一致しない場合があります。

指標でみる羽曳野市の財政状況 ※いずれの指標も基準内

【健全化判断比率】財政の健康状態を表す4つの比率
数値が低いほど、健全度が高くなります。

指標	羽曳野市	⑤早期健全化基準	⑥財政再生基準
①実質赤字比率	赤字額なし	12.08%	20.00%
②連結実質赤字比率	赤字額なし	17.08%	30.00%
③実質公債費比率	3.9%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	-(※)	350.0%	—

※将来負担比率は、将来負担額を充当可能財源等が上回り、算定されませんでした。

【資金不足比率】企業会計の経営状況の健全度をみる比率

対象会計	羽曳野市	⑦経営健全化基準
水道事業会計	資金不足なし	20.0%
下水道事業会計	資金不足なし	
と畜場特別会計	資金不足なし	

総務省
ウェブサイト



①普通会計（一般会計＋土地取得特別会計）の赤字額から財政の健全度をみる比率

②羽曳野市の全会計の赤字額から財政の健全度をみる比率

③借入金返済額などの大きさから財政の健全度をみる比率

（政令市を除く大阪府内の都市平均は2.4%）

④羽曳野市の負債残高から将来の財政の健全度をみる比率

（政令市を除く大阪府内の41市町村中、29市町村は

将来負担額を充当可能財源等が上回り、算定されず。）

⑤基準を上回ると、財政健全化計画を立てて、自主的な改善努力が必要

※「実質赤字比率」、「連結実質赤字比率」の早期健全化基準は、各自治体の財政規模により異なる。

⑥基準を上回ると、財政再生計画を立てて、国の関与を受け、確実な再生が必要

⑦基準を上回ると、経営健全化計画を定めなければならない

財政状況の見える化

市民の皆様や議会の理解と協力を得ながら適切な行財政運営を行っていくため、羽曳野市の財政状況についてわかりやすく説明する「見える化」に取り組んでいます。



市ウェブサイトの
見える化資料はこちら▶

会計別歳入歳出決算額

(千円・%)

会計名	歳入		歳出		歳入歳出 差引額
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
一般会計	46,162,082	100.2	45,950,747	100.2	211,335
国民健康保険特別会計	12,164,486	96.1	12,135,152	96.1	29,334
と畜場特別会計	187,302	144.7	187,302	144.7	0
財産区特別会計	1,798,369	123.9	147,285	582.8	1,651,084
介護保険特別会計	12,326,394	105.4	12,088,553	103.6	237,841
土地取得特別会計	445,288	195.6	445,203	195.6	85
後期高齢者医療特別会計	2,372,280	109.2	2,293,760	109.0	78,520

(千円・%)

会計名	総収益		総費用		純損益
	決算額	前年度比	決算額	前年度比	
水道事業会計	2,252,429	103.1	2,003,561	105.6	248,868
下水道事業会計	2,921,515	92.5	2,914,663	100.7	6,852

令和6年度 主要事業

物価高騰対策事業 18億5,998万円

国の臨時交付金を活用し、電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業、物価高騰対応重点支援給付金事業、中小企業等エネルギー価格高騰支援事業、水道料金支援事業、指定管理施設エネルギー価格高騰支援事業、市立学校施設エネルギー価格高騰支援などを実施。

道路整備事業 4億3,720万円

老朽化が進む道路・橋梁において、舗装工事等を実施。また、都市計画道路八尾富田林線(羽曳野工区)の関連道路の整備や国道170号(大阪外環状線)西浦交差点部の改良に向けた工事を実施。恵我ノ荘駅前南側広場の整備に向け関係機関との協議を実施。

重要給水施設へ至る配水管路耐震化更新事業 3億7,293万円

第6次水道施設整備事業として、地震発生時に病院や公共施設等へ安全で安定した水道水の供給を行うため、各施設に至る配水管路の耐震化更新工事を実施。

学校給食にかかる整備 5億1,745万円

- 学校給食センター等複合施設整備事業… 青少年児童センターと一体的な整備を行う学校給食センターの新築移転に向けて、整備工事に着手。
- 中学校給食の全員喫食に向けた配膳室整備事業… 中学校給食の全員喫食に向けて、各中学校・義務教育学校において配膳室を整備。

第3認定こども園整備事業 1億1,980万円

既存の3つの幼稚園と1つの保育園を統合し、令和8年度の開園をめざす第3の公立認定こども園である「古市こども園」の整備工事に着手。

ドッグラン整備事業 777万円

人と動物の調和のとれた共生とともに、愛犬家の憩いや交流の場となるよう、峰塚公園内にドッグランを整備。

本庁舎建替整備事業 1億7,344万円

耐震性能や老朽化等の課題がある市役所本館について、防災拠点機能の充実、市民サービスの向上と歴史資産との調和をめざした新庁舎整備にかかる基本設計の策定等を実施。

子育てにかかる経済的負担の軽減 1億6,137万円

- 物価高騰に伴う保育園・こども園・学校給食費支援… 保育園・認定こども園・市立学校における給食費について、食材費高騰分の公費支援を実施。
- 保育料第2子以降無償化… 第2子以降の0～2歳児の保育料について、半額化を拡充し、無償化を実施。

世界遺産登録5周年記念事業開催・大型木製はにわの保存処理 486万円

世界遺産の価値や魅力を広く発信するため、藤井寺市と連携でワークショップやスマートフォンアプリを活用した周遊イベントを開催。また、「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産である峯ヶ塚古墳から出土した大型木製はにわの保存処理を実施。

健診機会の拡充 910万円

- 成人歯科健診の対象年齢を拡充… 成人歯科健診の対象年齢に20歳、30歳を加えるとともに、歯周疾患が増加しやすい40歳代については、毎年受診できるよう、健診機会を拡充。
- プレ特定健診の実施… 生活習慣病の予防を目的とし、20歳～39歳までの国民健康保険加入者を対象としたプレ特定健診を実施。
- 5歳児健康診査(乳幼児フォロー健診に従事する小児神経専門医の参画)… 乳幼児健診の対象に5歳児を加え、府内初の取り組みとして、小児神経専門医による健康診査を実施。

対話支援機(コミュニケーション)の導入 56万円

窓口対応や介護予防教室等において、市職員等の声を聞き手にクリアな状態で届けることができる対話支援機器を導入。

コミュニティソーシャルワーカーの拡充 2,391万円

重層的支援体制整備事業の実施に向けた移行準備事業に伴い、地域で困っている人を支援するために、地域の人材や制度、サービス、住民の援助などを組み合わせ、新しい仕組みづくりのための調整やコーディネートを行うコミュニティソーシャルワーカーを増員。

支援教育介助員の拡充 1,229万円

支援の必要な児童・生徒に対して、個々の状況に応じた適切な支援教育を実施するため、特別支援学級での担任の補助、日常生活上の介助等を行う支援教育介助員を増員。

令和6年度 下水道事業の財政状況 (下水道事業会計決算の概要)

<問合せ>

下水道総務課 総務企画担当

令和6年度は収益的収支において、685万円の当年度純利益を計上しました。令和7年度以降も人口減少等に伴う使用料収入の減少、管渠等の老朽化に伴う更新需要の増大等、下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増しつつある中、将来に渡り安定した下水道サービスを提供できるよう、下水道事業における経営健全化の取り組みを進めてまいります。

■収益的収支(税抜)

～使用後の水を処理場へ送り、適切に処理するための費用と収益～

収入	使用料収入	長期前受金戻入	その他	繰入金	計
	13.83	9.67	0.55	5.17	29.22
支出	維持管理費等	支払利息	減価償却費	当年度純利益	計
	7.39	3.29	18.47	0.07	29.22

(単位:億円)

■資本的収支(税込)

～下水道施設の建設や改良のための支出と収入～

収入	企業債	繰入金	補填財源	計
	18.68	5.03	8.46	34.04
支出	建設改良費	企業債償還金	計	
	6.59	27.45	34.04	

(単位:億円)